

8 畜産振興課の事業概要

(事業名) ICT活用スマート畜産体制整備事業

新規 継続	実施期間	本年度予算額 (前年度予算額)	担当課・室 (担当班)	連絡先 (内線)
継続	H29～H31	2,948 千円 (7,496)	畜産振興課 (畜産企画班)	097-506-3674 (内 3674)

事業の目的

肉用牛の繁殖管理をICT化するためのクラウドシステムを構築し、肉用牛農家における牛の繁殖状態等を見える化する。また、畜産関係機関が同システムを活用し、地域で一体的に農家の生産性の向上に取り組むことにより、年間の子牛出荷頭数の増加による農家所得の向上を図る。

事業の内容

事業区分	予算額(千円)	事業主体	事業の内容	補助率
繁殖管理クラウドシステム整備	500	全国和牛登録協会大分県支部	・全国和牛登録協会大分県支部が、民間企業と共同で開発した以下の機能を有する繁殖管理クラウドシステムに、新たな機能を追加する取組を支援 ・受精卵移植などの特殊な技術への対応 など	県 1/2
スマート畜産プロジェクト推進	786	全国和牛登録協会大分県支部	行政及び畜産関係機関などが農家と一体となって、生産性向上(分娩間隔の短縮等)に取り組む県域のプロジェクトに必要な委託	県 10/10
県推進費	1,662			

(事業名) 畜産物価格安定対策事業(肥育牛)

新規 継続	実施期間	本年度予算額 (前年度予算額)	担当課・室 (担当班)	連絡先 (内線)
継続	H22～	7,457 千円 (7,121)	畜産振興課 (畜産企画班)	097-506-3674 (内 3674)

事業の目的

肉用牛肥育経営の安定を図るため、収益性が悪化した場合に、生産者の拠出と(独)農畜産業振興機構の補助により造成した基金から粗収益と生産費との差額の9割を補てんする。(H30年度に限定。通常は8割)

事業の内容

事業区分	予算額(千円)	事業主体	事業の内容	補助率
肉用牛肥育経営安定対策事業生産者積立金助成	7,304	大分県畜産協会	毎月算定する肥育牛1頭当たりの粗収益が生産費を下回った場合に、生産費と粗収益との差額分の8割を補てんするための基金造成に対する生産者負担金の一部を助成	定 額 ・肉用種:750円頭 ・交雑種:830円頭 ・乳用種:630円頭
推進費	153			

(事業名) 畜産物価格安定対策事業 (肉用牛・肉豚)

新規 継続	実施期間	本年度予算額 (前年度予算額)	担当課・室 (担当班)	連絡先 (内線)
継続	H15～	11,674 千円 (11,695)	畜産振興課 (畜産企画班)	097-506-3674 (内 3674)

事業の目的

肉用子牛の生産及び経営の安定を目的として、法に基づいて国、県、生産者で積立金を積み立てを行い、平均販売価格が保証基準価格を下回った期間に生産者補填金を交付するもの。

また、養豚経営については生産コストと豚枝肉価格の変動によって収益性の大幅な悪化が懸念されることから、国助成金と生産者積立金により基金を造成して、平均粗収益が平均生産コストを下回った場合に養豚経営に対する補てん金を交付し、経営の安定化を図る。

事業の内容

事業区分	予算額(千円)	事業主体	事業の内容	補助率
肉用子牛生産者 補給金制度	0 (積立準備金 残高から所要 額全額を充 当)	大分県畜産 協会	子牛価格が合理化目標価格を下回った場合、補給金を交付するための生産者積立金を造成	国 1/4 県 1/2
肉豚価格安定対 策	11,629	大分県畜産 協会	平均粗収益が平均生産コストを下回った場合にその差額の8割を補填するための基金造成に対する生産者負担金の一部を助成	100円/頭ま たは生産者 積立金の 15%のいづれ か低い額
推進費	45			

(事業名) おおいた豊後牛流通促進対策事業

新規 継続	実施期間	本年度予算額 (前年度予算額)	担当課・室 (担当班)	連絡先 (内線)
継続	H28～H32	61,611 千円 (19,981)	畜産振興課 (流通推進班)	097-506-3676 (内 3676)

事業の目的

第 11 回全国和牛能力共進会での種牛の部内閣総理大臣賞受賞や国民文化祭等の大型イベントの開催などを好機と捉え、全国に通用するおおいた豊後牛のリーディングブランドを創出し、戦略的な PR 事業を展開する。

事業の内容

事業区分	予算額(千円)	事業主体	事業の内容	補助率
新たなブランド 確立対策	45,506	県	ブランドイメージの再構築 ブランド戦略会議(生産者代表、県内外流通業者、消費者代表、クリエイター等)を設置し、新たなリーディングブランドを創出 全共日本一を活かした PR 作戦 認知度向上とブランド力強化を図るため、新ブランドによる PR 事業を県内外で展開	
おおいた豊後牛 流通対策	14,461	県	畜産メーカーによる流通促進対策 県外できめ細かに販路開拓を展開	
		豊後牛流通 促進対策協 議会	販売拡大対策 おおいた豊後牛の流通促進に向けた豊後牛流通促進対策協 議会の活動に対し助成	県 1/2
		豊後牛流通 促進対策協 議会	大消費地圏での認知度向上対策 おおいた豊後牛を常時取り扱う大消費地の店舗をサポート ーショップとして認定し、認知度向上と情報発信に活用	県 10/10
推進費	1,644			

(事業名) 県産豚「米の恵み」競争力強化対策事業

新規 継続	実施期間	本年度予算額 (前年度予算額)	担当課・室 (担当班)	連絡先 (内線)
継続	H29～H31	6,425 千円 (6,437)	畜産振興課 (流通推進班)	097-506-3676 (内 3676)

事業の目的

県内養豚農家の所得向上を図るため、新たに統一ブランドとして立ち上げた「米の恵み」の販売促進に対して支援する。

事業の内容

事業区分	予算額(千円)	事業主体	事業の内容	補助率
大分県産豚肉統一 ブランド流通 対策	4,477	大分米ポー クブランド 普及促進協 議会	県産豚肉の統一銘柄「米の恵み」のブランド化のため、消費・ 流通力の強化に取り組む協議会に対し、販促資材の作成やフ ェアの開催による販路開拓等の活動を支援	県 1/2
大分県産豚肉ブ ランド確立対策	1,160	県	飼料米等を給与しオレイン酸含有率の高い「米の恵みプレミ アム」のブランド確立のため、オレイン酸の測定体制を整備	
推進費	788			

(事業名) 牛乳消費拡大推進事業

新規 継続	実施期間	本年度予算額 (前年度予算額)	担当課・室 (担当班)	連絡先 (内線)
継続	H28～H30	1,566 千円 (1,566)	畜産振興課 (流通推進班)	097-506-3676 (内 3676)

事業の目的

飲用牛乳の地域内消費を拡大させるため、生産者及び乳業メーカーが連携して行う消費拡大の取組を支援する。

事業の内容

事業区分	予算額(千円)	事業主体	事業の内容	補助率
酪農体験実施支援対策	1,317	大分県酪農業協同組合	生産者、生産者団体、乳業会社が連携して行う、酪農体験型のイベント、学校での出張講座への経費を支援	県 1/3
推進費	249			

(事業名) おおいた冠地どり流通拡大対策事業

新規 継続	実施期間	本年度予算額 (前年度予算額)	担当課・室 (担当班)	連絡先 (内線)
継続	H29～H31	3,206 千円 (4,994)	畜産振興課 (流通推進班)	097-506-3676 (内 3676)

事業の目的

県が平成 19 年度に作出した「おおいた冠地どり」の流通拡大とブランド化を図るため、量販店や都市圏における新規販路の開拓やブランド力向上に取り組む。

事業の内容

事業区分	予算額(千円)	事業主体	事業の内容	補助率
販路拡大・知名度向上対策	2,740	おおいた冠地どり銘柄協議会	京都(関西)対策 既存取扱店や商談展示会出展による新たな量販店、飲食店への販路拡大 関東対策 既存取扱店における販路拡大や日本食鳥協会主催の「全国地鶏リレー」への参加による知名度向上と販路拡大 九州対策 大分・九州域内量販店、飲食店における販路拡大や県内でのPR対策	県 1/2 県 1/2 県 1/2
推進費	466			

(事業名) 家畜伝染病緊急防疫体制整備事業

新規 継続	実施期間	本年度予算額 (前年度予算額)	担当課・室 (担当班)	連絡先 (内線)
継続	H23 ~	500,000 千円 (500,000)	畜産振興課 (衛生環境班)	097-506-3678 (内 3678)

事業の目的

近年、アジア各国では口蹄疫等、国内においては高病原性鳥インフルエンザが発生しており、本県における特定家畜伝染病の発生リスクは依然として高い状況である。このため、万一発生時において、家畜伝染病の早期封じ込めとまん延防止措置を迅速に行う為の対策を講じる。

事業の内容

事業区分	予算額(千円)	事業主体	事業の内容	補助率
発生農場の処分 畜等処理による 封じ込め対策	4,178	県	発生農場の家畜の殺処分及び埋却処理により、病原体の封じ込めを実施 ・死亡畜等汚染物処理対策 ・初動防疫活動	
消毒ポイント設 置によるまん延 防止対策	312,781	県	発生農場を中心とした制限区域において、車両等の消毒ポイントを設置 ・緊急消毒ポイントの設置 ・制限区域上における消毒ポイントの設置	
県内家畜等飼養 施設の清浄性維 持対策	52,520	県	制限区域内の対象家畜飼養農場の清浄性を確認するとともに、県内全域の緊急消毒 ・県内家畜等飼養農場清浄性維持対策 ・制限区域内清浄性確認対策 ・緊急備蓄対策	
		畜産関係団 体	農場バイオセキュリティ向上対策	国 1/2
畜産経営安定対 策	130,521	畜産関係団 体	発生農場の経営再建と県内畜産農家の経営安定対策を実施 ・出荷遅延に伴う飼料支援対策 ・出荷集中に伴う価格差支援対策	国 1/2 県 3/4
		県	・畜産経営緊急対応 ・活動推進費	

(事業名) 獣医師確保対策事業

新規 継続	実施期間	本年度予算額 (前年度予算額)	担当課・室 (担当班)	連絡先 (内線)
継続	H24～H33	14,134 千円 (14,134)	畜産振興課 (衛生環境班)	097-506-3678 (内 3678)

事業の目的

近年、口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザなどの家畜伝染病が発生し、国民の食の安全に対する意識が高まるなかで、県公務員獣医師、産業動物獣医師等の役割はさらに重要となっている。このため、獣医系大学に在籍する学生に対し就職拡充活動を行うとともに、修学資金の枠の拡大などにより、安定的な獣医師確保を図る。

事業の内容

事業区分	予算額(千円)	事業主体	事業の内容	補助率
獣医師確保特別修学資金給付事業	13,074	大分県畜産協会	獣医系大学卒業後、大分県内の県公務員獣医師若しくは産業動物獣医師となることを条件とし、獣医系大学生に対し月10万円、年間120万円を給付	国庫活用 国 1/2 県 1/2 県単 県 10/10
獣医系大学インターンシップ支援事業	150	大分県畜産協会	県公務員獣医師の業務内容を知ってもらい、県内への就職につなげるため、家畜保健衛生所等の県機関で研修生を積極的に受入れ、研修時の宿泊費を補助	県 10/10
就職拡充活動事業	910	県	各大学が開催する就職説明会で、県公務員獣医師及び産業動物獣医師等の仕事内容を紹介し、県への就職を勧誘 また、就職内定者へのフォローアップのための学生訪問を実施	

(事業名) 畜産農場 HACCP 等認証取得推進事業

新規 継続	実施期間	本年度予算額 (前年度予算額)	担当課・室 (担当班)	連絡先 (内線)
継続	H29～H31	3,145 千円 (2,137)	畜産振興課 (衛生環境班)	097-506-3678 (内 3678)

事業の目的

畜産農場におけるJGAP、農場HACCP認証取得を推進し、食品処理過程のHACCP管理方式と連動させた安全・安心な生産流通体制の整備をすることで他産地との差別化や輸出拡大を図る。

事業の内容

事業区分	予算額(千円)	事業主体	事業の内容	補助率
農場HACCP認証取得推進	439	畜産関係団体	県及び関係機関が一体となり認証取得を推進 農場HACCP推進研修会の開催 農場への普及・推進パンフレット等の作成 農場HACCP認証取得農場へのフォローアップ	県 10/10
JGAP・農場HACCP指導體制強化	2,706	県	JGAP、農場HACCP取組農場に対する指導體制を強化 指導員の育成 家畜保健衛生所、振興局(広域普及員)による指導 衛生管理状況確認検査の実施	